LIXIL
INAX

保証書付
（裏表紙）

# 壁付手洗器
# (G)L-A74シリーズ

ハンドル水栓：(G)L-A74HA
セルフストップ水栓：(G)L-A74PA
自動水栓(100V)：(G)L-A74UAA
自動水栓(アクエナジー)：(G)L-A74UMA
温水自動水栓(100V)：(G)L-A74UWA　他

# 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

## もくじ


**安全上のご注意** …… 1
**特長** …… 4
**各部の名称** …… 5
**ご使用方法** …… 8
**ご使用上の注意** …… 11
**専用リチウム電池の寿命と交換** …… 14
**日常のお手入れ** …… 16
**定期的なお手入れ** …… 17
**修理を依頼される前に** …… 20
**アフターサービスについて** …… 21
**仕様** …… 22
**保証書** …… 裏表紙

# ●安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

**警告**…… 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意**…… 取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

……「注意しなさい！」（上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止
……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

分解禁止
……「分解してはいけません！」

水場使用禁止
……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

接触禁止
……「指示した場所に触れてはいけません！」

指示実行
……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

## ⚠ 警　告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※発火、感電したり、故障、破損及び異常作動してケガをすることがあります。

水につけたり、水をかけないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気が多い場所では使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因となります。

電源プラグについたホコリは、取り除いてください。
※電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源プラグを濡れた手で触れないでください。
※感電の原因となります。

## ⚠ 注　意

上水道以外は使用しないでください。
※商品の内部腐蝕により、発火、ショート、感電、故障の原因となります。

定期的に配管の周りに水漏れがないか確認してください。
※部品の摩耗、劣化などにより水漏れが生じ、家財などを濡らす財産損害を発生する恐れがあり

トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウエットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。
※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

# ⚠注　意

手洗器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。
※変形や破損してケガをする恐れがあります。

禁止

手洗器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

接触禁止

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。

禁止

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※発火、ショート、感電の原因となります。

指示実行

AC100Vタイプ、アクエナジータイプは泡沫吐水、温水自動水栓タイプは整流吐水となっているため吐水流量が少なく排水管が詰まりやすくなる可能性があります。定期的に排水管のお掃除をしてください。

指示実行

100Vタイプは、交流100V（50Hz/60Hz）以外では使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

禁止

ハンドル水栓の場合、ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水をおこすことがありますので、ゆっくり操作してください。
※漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

セルフストップ水栓、ハンドル水栓は水専用の水栓です。給湯器への接続は行わないでください。

禁止

## 専用リチウム電池についての安全上の注意

下記のことを必ずお守りください。漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。

### ⚠警　告

●専用リチウム電池を充電しないでください。
●専用リチウム電池を水の中に入れないでください。
●専用リチウム電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。
●専用リチウム電池を強制放電しないでください。
●付属の専用リチウム電池以外の電池を使用しないでください。

禁止

●専用リチウム電池を分解・加工・改造しないでください。

分解禁止

### ⚠注　意

●電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した電池は使用しないでください。

指示実行

●電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しの良い、乾燥したあまり温度の上がらない場所に保管してください。

指示実行

## ●特長

**〔自動水栓仕様〕**

●吐水口に手を差し出すと、センサーが手を感知し、自動で吐水、止水を行います。
●吐水・止水が水栓金具に手を触れることなく行えますので衛生的です。
●自動で止水するため、無駄な水を流すことがありません。
●定流量弁を内蔵しており、水の出過ぎをカットします。
●AC100Vタイプ、アクエナジータイプは泡沫吐水、温水自動水栓タイプは整流吐水となっており、水はねがほとんどありません。

**〔セルフストップ水栓仕様〕**

●セルフストップ機能により一回の操作で一定量吐水し、自動的に止水します。衛生的で節水となり経済的です。
●吐水時間の調節が容易にできる吐水時間調節ねじを設けています。
●配管中のゴミが機能部に入らないようストレーナを設けています。
●機能部がカートリッジ式なので、機能部の掃除・点検が容易にできます。

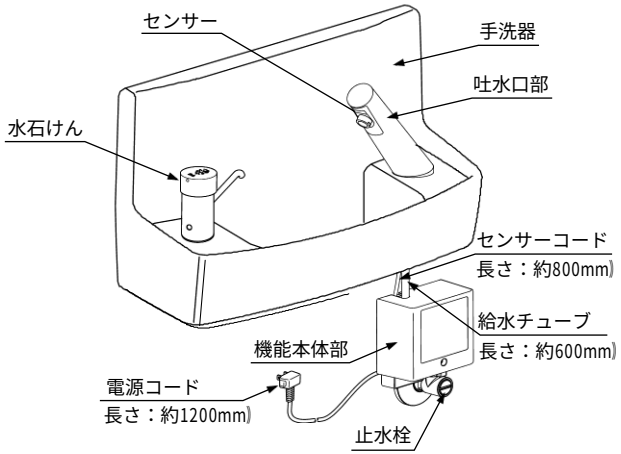
**〔ハンドル水栓仕様〕**

●ハンドルは一定の力でスムーズに開閉でき、回してもハンドルがせり上がらないノンライジング式です。

# ●各部の名称

## ●自動水栓（AC100Vタイプ）

外観図



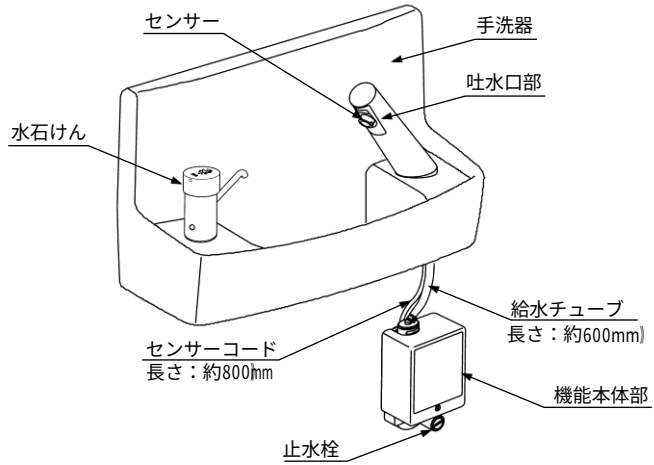

※品番によっては、止水栓の形状が異なります。

## ●品番一覧

| 品　番 | 仕　様 | | |
|---|---|---|---|
| | 水 石 け ん | 小型電気温水器 | 電　源 |
| (G)L-A74UAA<br>(G)L-A74UAB<br>(G)L-A74UAC<br>(G)L-A74UAD | なし | なし | AC100V<br>(50/60Hz) |
| (G)L-A74UA2A<br>(G)L-A74UA2B<br>(G)L-A74UA2C<br>(G)L-A74UA2D | あり | | |
| (G)L-A74UWA<br>(G)L-A74UWB<br>(G)L-A74UWC<br>(G)L-A74UWD | なし | あり | |
| (G)L-A74UW2A<br>(G)L-A74UW2B<br>(G)L-A74UW2C<br>(G)L-A74UW2D | あり | | |

## ●自動水栓（アクエナジータイプ）

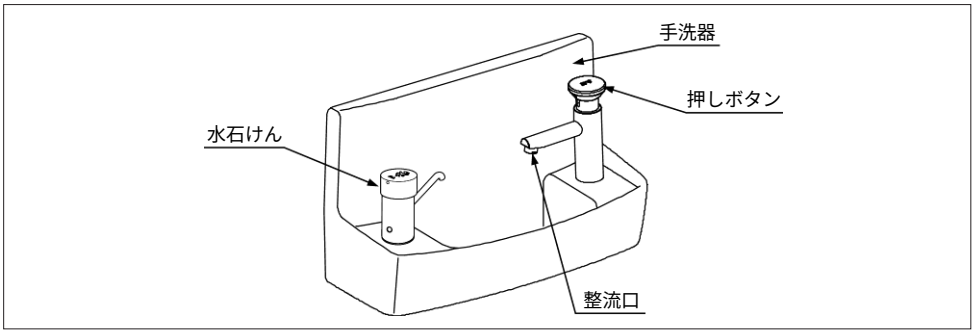
外観図




## ●品番一覧

| 品　番 | 仕　様 | |
|---|---|---|
| | 水 石 け ん | 電　源 |
| (G)L-A74UMA<br>(G)L-A74UMB<br>(G)L-A74UMC<br>(G)L-A74UMD | なし | アクエナジー<br>（発電機付） |
| (G)L-A74UM2A<br>(G)L-A74UM2B<br>(G)L-A74UM2C<br>(G)L-A74UM2D | あり | |

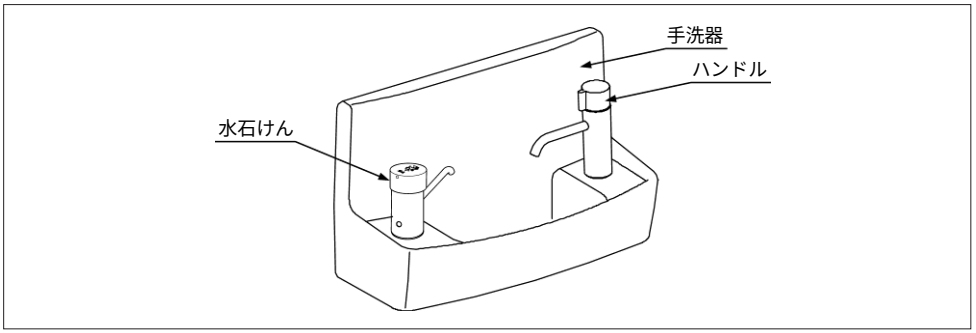
## ●セルフストップ水栓タイプ




## ●品番一覧

| 品　番 | 水 石 け ん |
|---|---|
| (G)L-A74PA<br>(G)L-A74PB<br>(G)L-A74PC<br>(G)L-A74PD | なし |
| (G)L-A74P2A<br>(G)L-A74P2B<br>(G)L-A74P2C<br>(G)L-A74P2D | あり |

## ●ハンドル水栓タイプ




## ●品番一覧

| 品　番 | 水 石 け ん |
|---|---|
| (G)L-A74HA<br>(G)L-A74HB<br>(G)L-A74HC<br>(G)L-A74HD | なし |
| (G)L-A74H2A<br>(G)L-A74H2B<br>(G)L-A74H2C<br>(G)L-A74H2D | あり |

# ●ご使用方法

## 〔自動水栓タイプ〕

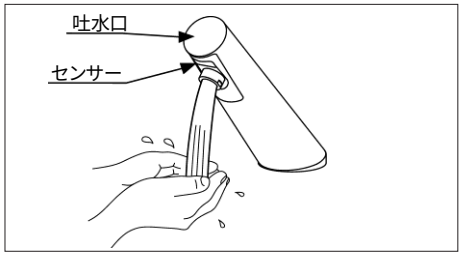
## ●吐水と止水

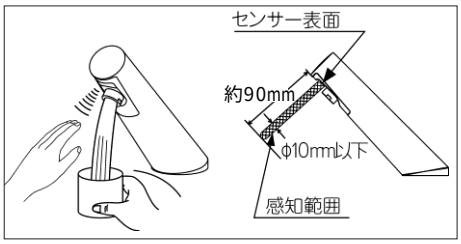
### ●センサーによる自動吐水

吐水口の下に手を差し出すとセンサーが感知し吐水します。手を引くと約1～2秒後に止まります。

※1分間吐水が続くと自動的に止水します。再び吐水させたいときは、一度手を引き再び手を差し出します。

※センサーは赤外線を透過してしまうガラスなどでできたコップや花瓶は感知できません。また、ステンレス製およびメッキを施したコップなどは感知しないことがあります。感知範囲に手をかざしてご使用ください。



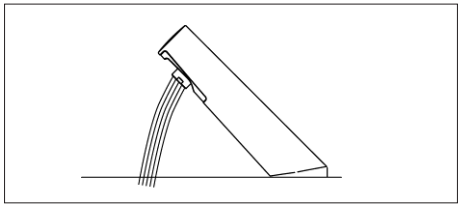

## ●流量の調節

流量調節栓を全開にします。

※節水のため定流量弁を内蔵していますので、一定以上の流量（約3L/分以上）は出ません。

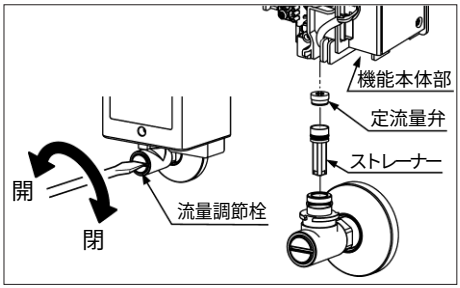
【流量が不足している場合】

⑴低圧現場で流量が不足する場合は、定流量弁を取り外してください。（P17、ストレーナーの掃除参照）



⑵定流量弁を取り外したあと、流量の調節を行ってください。

※流量の目安は1Lの容器をいっぱいにするのに約20秒～30秒です。



〔セルフストップ水栓タイプ〕

## ●吐水と止水

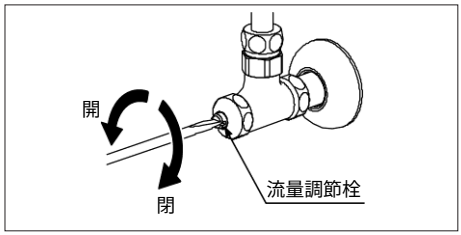
押しボタンを一回押して手を放してください。一定量吐水した後、止水します。連続して吐水する場合は、使用する間押しボタンを押し続けてください。

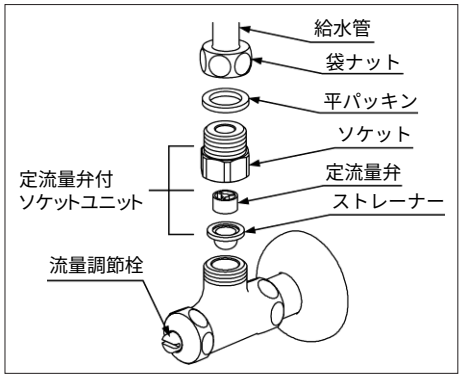
## ●流量の調節

流量調節栓を全開にします。

※節水のため定流量弁を内蔵していますので、一定以上の流量（5L/分以上）は出ません。

※低圧の現場で流量が不足する場合は、定流量弁付ソケットユニット内の定流量弁を取り外して、定流量弁付ソケットユニットを流量調節栓に取り付け、流量調節栓にて流量の調節を行ってください。




## ●吐水時間の調節

吐水時間調節ねじをスピンドルに装備していますので、次の要領で適度な吐水時間に調節してください。

⑴流量を調節して吐水時間を確かめます。

⑵止めねじをマイナスドライバーでゆるめ押しボタンを取り外します。

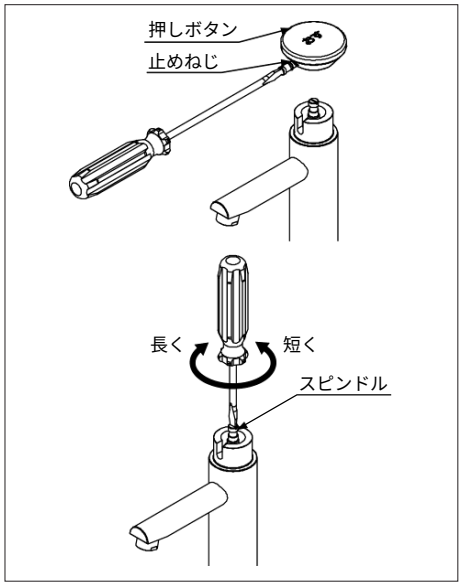
⑶スピンドルをマイナスドライバーで回転させて吐水時間を調節します。

右回転…長くなる

左回転…短くなる

推奨範囲　5～10秒

※スピンドルを左回転に回しすぎると吐水時間調節ねじが脱落することがありますので回しすぎないようご注意ください。



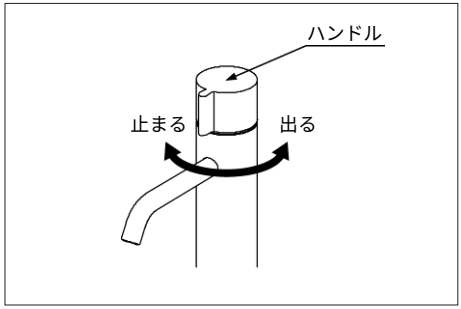
⑷押しボタンをスピンドルに取り付け、押しボタンを押して吐水時間を確かめます。

⑸調節が終わったら止めねじをスピンドルに止まるまでしっかり締め付けてください。

## 〔ハンドル水栓タイプ〕

### ●吐出量の調節

ハンドルを右に回すと吐出し、回す角度で吐出量を調整できます。（最大回転角度90°）




### ●流量の調節

使用時に水が飛散しない程度に流量調節栓で調節してください。（P.9流量の調節参照）

# ●ご使用上の注意

## 〔全タイプ共通〕

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガしたり。故障・破損の恐れがあります。

分解禁止

●定期的に、配管の漏水やガタツキがないか確認ください。
※部品破損によるケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●手洗器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

禁止

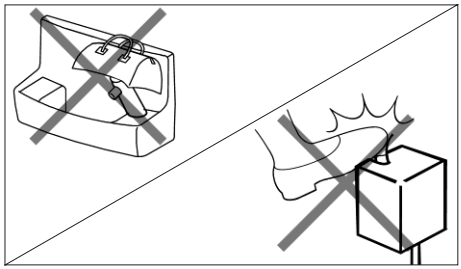
●商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。

禁止

●商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

接触禁止

●重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。
※破損する恐れがあります。



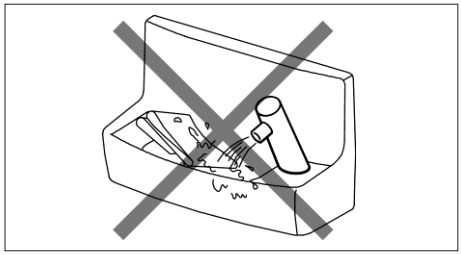
●凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。また凍結による破損は保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

指示実行

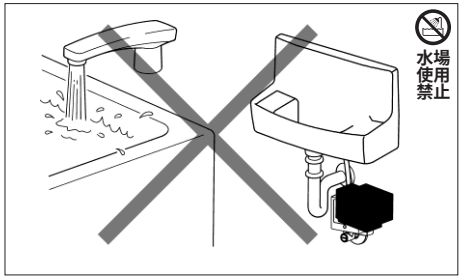
## 〔自動水栓タイプ〕

●直射日光が当たる場所での使用はおやめください。
※誤作動や故障などによる予期しない事故の原因となります。

●タオル等の障害物を鉢面におかないでください。
※誤作動の原因となります。



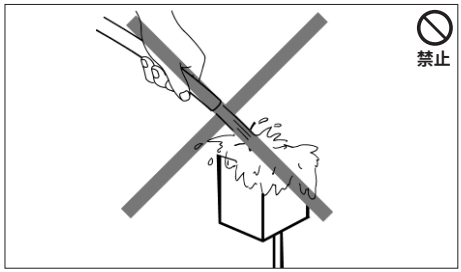
●バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。




●上水、飲用可能な井戸水以外は、使用しないでください。
※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電、故障の原因となります。

禁止

●水につけたり、水をかけたりしないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。




●トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウエットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

禁止

**〔セルフストップ水栓、ハンドル水栓タイプ〕**

●セルフストップ水栓、ハンドル水栓は、水専用の水栓です。給湯器への接続は行わないでください。

禁止

**●吐出量の調節**

水圧が高いところで使用される場合は、流量調節栓を絞ってご使用ください。

※吐水量が多いと、ハンドル水栓の場合、ハンドルの吐出量調節がしにくい場合があります。

※流量調節栓の調節の仕方は、P.9を参照してください。

●ハンドル水栓の場合、ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

# ●自動水栓　アクエナジー式

# ●専用リチウム電池(品番：A-4305)の寿命と交換

## ●発電のしくみ

内蔵された発電機により、使用時の水の運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。この電気エネルギーはコンデンサに蓄えられ、水栓の作動エネルギーとして使用されます。

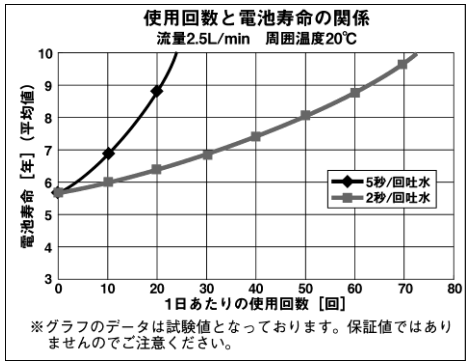
## ●使用頻度と専用リチウム電池寿命の関係

使用頻度によっては、発電量より消費電力の方が多くなり、専用リチウム電池の寿命が短くなる場合があります。

**注 意**

**専用リチウム電池は必ず接続してください。**

※接続しないと夜間等の長時間使用しない場合において、吐水しなくなる可能性があります。




## ●専用リチウム電池交換のお知らせ

センサーを感知させても吐水しない場合は電池切れの恐れがあります。

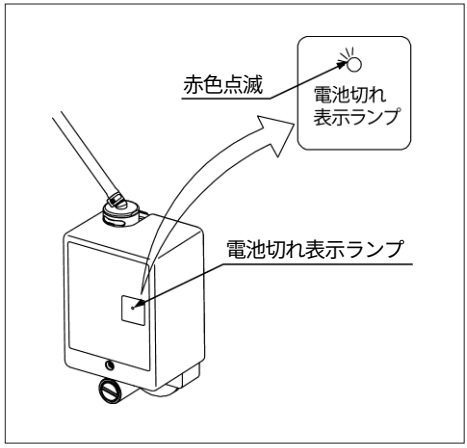
〔電池切れの確認方法〕

機能本体部の電池切れ表示ランプが赤色点滅（4秒に1回の間隔）している場合は電池交換が必要です。赤色点滅は電池切れ後、約1週間継続します。

センサー感知後の赤色点滅をしない場合でも正常に動作しない場合は電池切れの可能性があるので電池交換をしてください。

専用リチウム電池のお求めはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

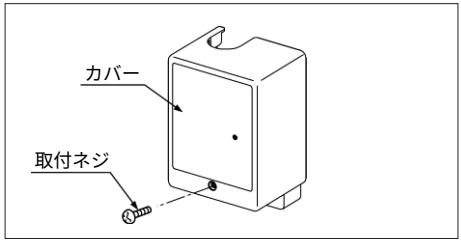
※交換用の専用リチウム電池(A-4305)は有償となります。



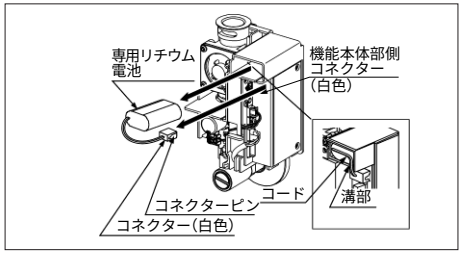

※水栓の使用頻度によっては実質的には10年以上電池の寿命が持つ場合がありますが、その場合でも液漏れ等の可能性があるため、10年以内で専用リチウム電池の交換を行ってください（専用リチウム電池の商品保証期間は2年間です。）

## ●専用リチウム電池の交換（取外し）

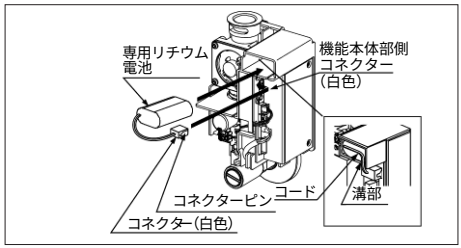
⑴プラスドライバーで機能本体部前面のネジを外し、カバーを外します。
※内部に水が入らないように注意してください。
※取付ネジは専用のものですので必ず付属のものをご使用ください。



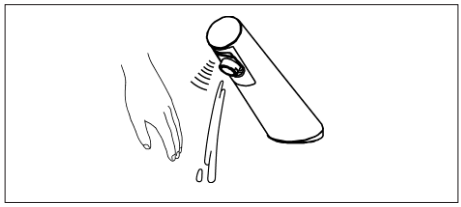

⑵縦に4つ並んでいるコネクタの中の、一番上のコネクタを抜き、専用リチウム電池を外します。




⑶新しい専用リチウム電池を取付け、コネクタを差し込みます。
※コードを溝部にはめ込んでください。




⑷カバーを取付けた後、センサーを感知させ吐水すれば電池交換が無事終了したことを示します。
※専用リチウム電池の接続後、水栓が使用可能になるまでに約30秒かかります。



## ⚠警　告

専用リチウム電池の廃棄の仕方を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガや火災の原因となります。以下のことを守り、地域自治体の定めた方法で正しく廃棄してください。

●電線を切らないでください。
●外装のチューブを破らないでください。

禁止

●コネクターを粘着テープ等で絶縁してください。

指示実行

## ●日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

●表面の汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。汚れがひどいときには適当に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

●水栓やセンサーの表面を傷つけたり、侵したりする恐れのあるものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等
- 壁面のタイルなどを酸洗いした場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。

●陶器部

熱湯等をかけないでください。

※破損の恐れがあります。

●1日に1回程度は吐水させてください。

長時間使用しないと弁が固着し吐水しなくなる恐れがあります。

## ●KILAMIC抗菌商品についての注意

●KILAMIC抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。

●KILAMIC抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

# ●定期的なお手入れ

**〔自動水栓タイプ〕**

## 月1回は以下の点検をしてください。

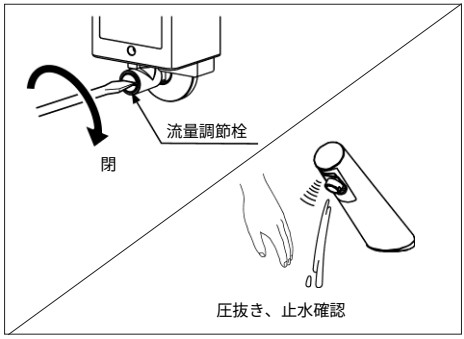
### ●ストレーナーの掃除

流量が少なくなった場合や吐水が乱れてきた場合は、ストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。ときどき次の要領で掃除してください。

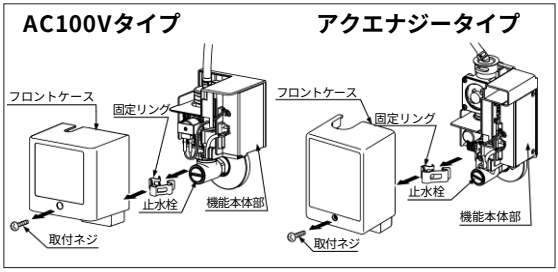
**〔ストレーナーの掃除〕**

⑴止水するために流量調節栓を時計回りいっぱいにねじ込みます。

⑵手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。

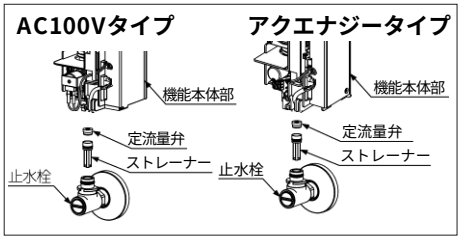



⑶フロントケース、固定リングを取り外し、機能本体部を取り外します。




⑷機能本体部の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。

※ストレーナー内部に定流量弁が入っている場合、定流量弁を紛失しないように注意してください。

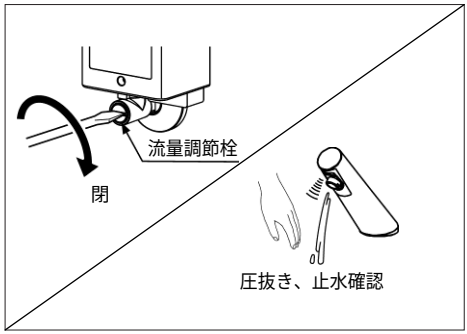



⑸取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元に戻します。

※定流量弁が取り外してある場合は、流量調節栓にて適正流量に調節してください。（流量の調節を行う場合、詳細は「流量の調節」の項（P.8）を参照してください）

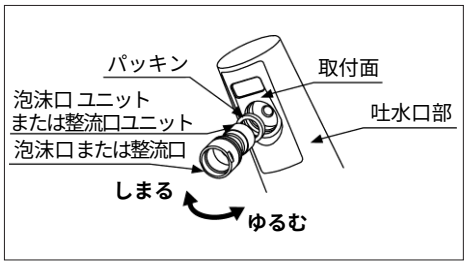
## 〔泡沫口または整流口の掃除〕

流量が少なくなった場合や吐水が乱れてきた場合に、ストレーナーの掃除（P.17）を行っても解消されない場合は、泡沫口および整流口のゴミ詰まりが考えられます。次の要領で掃除してください。




⑴止水するため、流量調節栓を時計回りいっぱいにねじ込みます。
手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。

⑵工具(スパナ)で泡沫口および整流口を回して取り外し、泡沫口および整流口を水で掃除してください。
※パッキンが入っているので、紛失しないように注意してください。

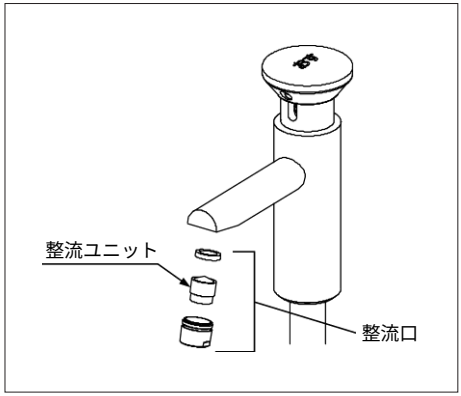



⑶取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元に戻します。（流量調節P8参照）

※パッキンはよじれないように泡沫口の中に入れて、取付面と平行に吐水口部に取付けてください。
※掃除した後は泡沫口および整流口をしっかり締めてください。
※通水時に必ず水漏れの確認を行ってください。

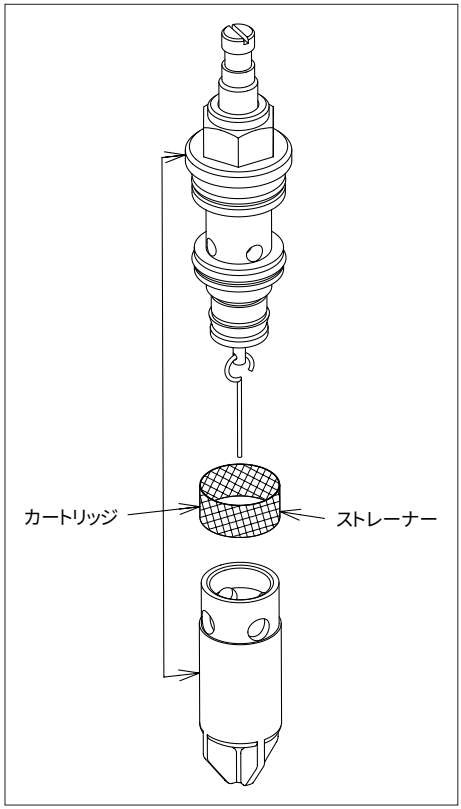
〔セルフストップ水栓タイプ〕

## ●整流口の掃除




吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。
ときどき次の要領で掃除してください。
整流口を工具（モンキーレンチ）で取り外し、整流ユニットを水で掃除してください。
※整流口の取り外しは直接工具を掛けますと、整流口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。

## ●ストレーナーの掃除




ストレーナーのゴミ詰まりは、機能を低下させます。
ときどき次の要領で掃除してください。
⑴流量調節栓を閉じます。
⑵止めネジをマイナスドライバーでゆるめ押しボタンを取り外します。
⑶カートリッジをソケットレンチ（対辺17）などでゆるめ取り出します。
⑷ストレーナーを取り出し、編み目に詰まったゴミをブラシなどで掃除し、十分水洗いします。

# ●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に、下記の項目をご確認ください。

| | 故障の状況 | 確認内容 | 処置方法 | 参照項目 |
|---|---|---|---|---|
| 自動水栓タイプ | 吐出しない、吐水量が少ない | 流量調節栓を全開にしていますか？ | 流量調節栓を全開にする。 | 流量の調節（P.8） |
| | | 断水中ではありませんか？ | 回復するまでお待ちください。 | — |
| | | ストレーナーや泡沫口または整流口にゴミなどが付着していませんか？ | ゴミ等を除去する。 | ストレーナー・泡沫口または整流口の掃除（P.17・P.18） |
| | | センサー表面が汚れていませんか？ | 汚れをふき取る。 | お手入れ（P.16） |
| | | センサーコードがコネクターにしっかりと差し込まれていますか？ | コードをコネクターに差し込む。 | — |
| | | 水圧が低くないですか？ | 定流量弁を外して流量調節栓にて流量の調節を行ってください。 | 流量の調節（P.8） |
| | | （AC100Vタイプの場合）電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？ | コンセントに電源プラグを差し込む。 | — |
| | | （AC100Vタイプの場合）センサーコードがしっかりと機能本体部に差し込まれていますか？ | コードをコネクターに差し込む。 | — |
| | | （AC100Vタイプの場合）停電中ではありませんか？ | 回復するまでお待ちください。 | — |
| | | （アクエナジータイプの場合）専用リチウム電池が正しくセットされていますか？（専用リチウム電池、接続後、水栓が使用可能になるまでに約30秒かかります。） | 専用リチウム電池を正しくセットする。 | 専用リチウム電池の交換（取外し）（P.14） |
| | | （アクエナジータイプの場合）セットされている専用リチウム電池が寿命ではありませんか？ | 専用リチウム電池を新しいものに交換する。 | 専用リチウム電池の交換（取外し）（P.14） |
| | | 上記の箇所を確認しても吐出しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。 | | |
| | 流量が多い | ストレーナー内の定流量弁が取り外されていませんか？ | 定流量弁を正しくセットしてください。 | 流量の調節（P.8） |
| | | 低圧の現場の場合、定流量弁取外し後、流量を調節しましたか？ | 流量を調節する。 | 流量の調節（P.8） |
| | 止水しない（勝手に吐水する） | センサーの前に障害物はありませんか？ | 障害物を取り除く | — |
| | | センサー表面が汚れていませんか？ | 汚れをふき取る。 | お手入れ（P.16） |
| | | 上記の箇所を確認しても止水しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。 | | |
| | 吐水が乱れる | 泡沫口または整流口がよごれていませんか？ | 泡沫口または整流口のよごれを拭き取ってください。 | 泡沫口または整流口の掃除（P.18） |
| | 泡沫口または整流口の根元から水が漏れる | 泡沫口、整流口がしっかり締め込まれていますか？ | 泡沫口、整流口をしっかり締めこんでください。 | 泡沫口または整流口の掃除（P.18） |
| | 吐水口からポタポタ水が落ちる | 施工時に配管内のゴミを流しましたか？ | ストレーナーの掃除を行う。また定流量弁を外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを洗い流す。 | ストレーナー・泡沫口または整流口の掃除（P.17・18） |
| | お湯が出ない | 小型電温器が正しくセットされていますか？ | 小型電温器附属の取扱説明書に従い、小型電温器を正しくセットしてください。 | — |
| セルフストップ水栓タイプ | 吐水しない、吐水量が少ない | 流量調節栓の開度は適正ですか？ | 流量調節栓の開度を調節する。 | 流量の調節（P.9） |
| | | 整流口にゴミなどが付着していませんか？ | ゴミ等を除去する。 | 整流口の掃除（P.19） |
| | 吐水口からポタポタ水が落ちる | 施工時に配管内のゴミを流しましたか？ | ストレーナーの掃除を行う。また定流量弁を外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを洗い流す。 | ストレーナー・泡沫口の掃除（P.17） |
| | 吐水時間が長い・短い | 吐水時間が適正に調節されていますか？ | 吐水時間調節ねじで吐水時間を調節してください。 | 吐水時間の調整（P.9） |
| ハンドル水栓タイプ | 吐水しない、吐水量が少ない | 流量調節栓の開度は適正ですか？ | 流量調節栓の開度を調節する。 | 流量の調節（P.10） |

# ●アフターサービスについて

**1. 修理サービスを依頼される前に**

「修理を依頼される前に」の項（P.20）を参照して確認してください。

**⚠注　意**

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。

**2. 保証書と保証期間**

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日**から**2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

**3. 修理を依頼されるとき**

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “ 技術料 ”＋“ 出張料 ”＋“ 部品代 ”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示、「各部の名称」の項（P.5）参照）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

**4. 部品の保有期間について**

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

**5. アフターサービス等についておわかりにならないとき**

《修理のご依頼は》**お求めの取扱店または**

**LIXIL修理受付センターまで（ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/support/）**

TEL **0120-179-411**　**受付時間**9:00～20:00　365日受付

FAX **0120-179-456**

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

**お客さま相談センターまで**

TEL **0120-179-400**　**受付時間　平日**　9:00～18:00

FAX **0120-179-430**　**土日・祝日**　9:00～17:00

**（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）**

**※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。**

**TEL 0562ー40ー4050　FAX 0562ー40ー4053**

---

**●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。**

# ●仕様

| 項　　目 | | 仕　　様 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 自動水栓タイプ | | セルフストップタイプ | ハンドル水栓タイプ |
| | | AC100V式 | アクエナジー式 | | |
| 使用圧力範囲 | | 0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠} ※小型電気温水器付きの場合は電気温水器の使用水圧を確認ください。 | 0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠} | 0.07～0.75MPa {0.7～7.6kgf/㎠} | 0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠} |
| 小型電気温水器との組合せ | | あり | なし | | |
| 使用水 | | 水道水および飲用可能な井戸水 ※1 | | | |
| 使用環境温度範囲 | | 0～40℃ | | | －20～40℃（0℃以下は水を抜いた状態） |
| 使用環境湿度範囲 | | 90%RH以下 | | － | － |
| 適正流量範囲 | | 2～3L/分 (2.5L/分/定流量弁内蔵) | 2～3L/分 (2.5L/分/定流量弁内蔵) | 5L/分（定流量付） | － |
| 給水（給湯接続） | | R1／2 | | PJ1／2 | |
| 電源 | 主電源 | AC100V (50Hz/60Hz) | 最大DC5.5V 【電源回路】 | － | |
| | バックアップ | － | DC3V 【リチウム電池】 | － | |
| 消費電力 | | 待機時0.2W以下 使用時1.3W以下 | 待機時0.1W以下 使用時2.5W以下 | － | |
| 感知方式 | | 距離測定式赤外線センサー | | － | － |
| 感知距離 | | 約90 ㎜ | | － | － |
| 感知エリア幅 | | 約Φ10 ㎜ 以下 | | － | － |

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

LIXIL
INAX

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **品名：バック付手洗器　　（品番：　　）** | | | |
| **保証期間** | **取付日より2ヶ年** | **取付日** | 年　月　日 |
| **お客さま** | **おなまえ** | | **販売店名** |
| | **おところ** | | |
| | **おでんわ** ( ) - | | **TEL** ( ) - |

**無効**

**お客さまへ**
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

## 無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   ⑴ 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
   ⑵ 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
   ⑶ お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
   ⑷ 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
   ⑸ 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
   ⑹ 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
   ⑺ 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
   ⑻ 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
   ⑼ 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
   ⑽ 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
   ⑾ 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
   ⑿ 消耗品（パッキン、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
   ⒀ 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう。）
   ⒁ 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   ⒂ 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
   ⒃ ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
   ⒄ 保証書の期限切れまたは提示がない場合
   ⒅ 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ケ年です。


**商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで**

**TEL 0120-179-400**
**FAX 0120-179-430**

**受付時間　平日　9:00〜18:00**
**土日・祝日　9:00〜17:00**
**(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)**

**※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。**
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

**修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで**

**TEL 0120-179-411**
**FAX 0120-179-456**

**受付時間** 9:00〜20:00 (365日受付)

**株式会社 LIXIL**

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/


GAW-1047(14020)